

3. 自主防災組織リーダー研修会の開催

「自主防災組織リーダー研修会」の開催

京都府消防防災課

京都府では、(財)日本防火協会との共催により、9月25日(木)・26日(金)の2日間にわたり、京都市内において、京都府自主防災組織リーダー研修会を開催いたしました。

今回は、自主防災組織の活性化や組織づくりを積極的に推進できる人材を養成するために、府内9市町から自主防災組織のリーダー等約60人が参加し、大規模地震等の大規模災害が発生した際の自主防災組織の重要性や地域防災のあり方などの研修を行いました。



研修のカリキュラムは、1日目に「防災講演」、「グループ討議」を、2日目は「図上訓練DIG」の実技研修を行いました。

1日目の防災講演では、京都大学防災研究所巨大災害研究センターの林春男教授から、約百年周期での東南海・南海地震の発生と、その巨大地震の前に必ず内陸型活断層地震が発生していることが指摘され、その上で災害に見舞われた際に地域ぐるみで助け合う組織や体制づくりが災害軽減に大切との御講演をいただきました。

2日目の実技研修では、富士常葉大学環境防災学部の小村隆史講師から、地図に地域の様々な情報を書き込み自分たちの地域を知ることにより災害に備えるという「図上訓練DIG」を行い、参加者の方々からは、「災害が起きた際には『自分たちの地域は自分たちで守る』ということがいかに大切であるかを認識した、自分たちの地域でもこの図上訓練DIGをやりたい。」との意見も寄せられました。

この2日間にわたる研修会で、各講師の講演、防災知識・技術の習得のほか、活発な意見交換等も行い、自主防災リーダーとしての意識向上が図られ、有意義に終了しました。



平成15年度自主防災組織リーダー研修会概要（福岡県）

○日時：平成15年10月4日（土）～5日（日）

○場所：福岡県社会教育総合センター

○概要



本年度は地震をテーマとして研修会を開催しました。

初日は、まず九州大学大学院理学研究院の鈴木貞臣教授に「地震のメカニズムと地震防災対策について」と題し、地震全般に関する基礎的な話をわかりやすく解説していただきました。

続いて、山口大学工学部の瀧本浩一先生に「地震に対する地域防災術～自主防災組織の果たす役割～」と題し、自主防災組織の必要性、平常時及び災害時の活動などについて講演していただきました。

この後、福岡市城南区片江校

区自主防災会の田原会長から福岡県における先駆的な活動事例を紹介していただくとともに、自主防災実技として、粕屋南部消防本部の職員から応急手当等を、また、福岡県身体障害者リハビリテーションセンターの職員から車いすを使った災害弱者の避難誘導等を指導していただきました。



2日目は、富士常葉大学の小村隆史先生並びに(株)システムソフトの専務で、地域安全学会の事務局長でもある宮本英治先生をお招きし、DIGについての説明、東海・東南会地震が本県に与える影響などについて講演をしていただいたあと、参加者を7グループに分け、小村先生の指導で、地震を想定した図上訓練（DIG）を実施しました。



本県では、過去に大きな地震災害の経験がないにもかかわらず、参加者は熱心に講義に耳を傾け、かつ積極的に図上訓練に参加していました。

この研修会で学んだことを、それぞれの地域で防災力の向上のために活用していただけるものと期待しています。

